

令和4年9月1日

(市建設局-災害協定業者)

防災訓練アンケート結果等について

コロナ禍

参集困難



※非参集訓練

被災登録  
アンケート  
& 基礎事項振返り

※令和3年度同様



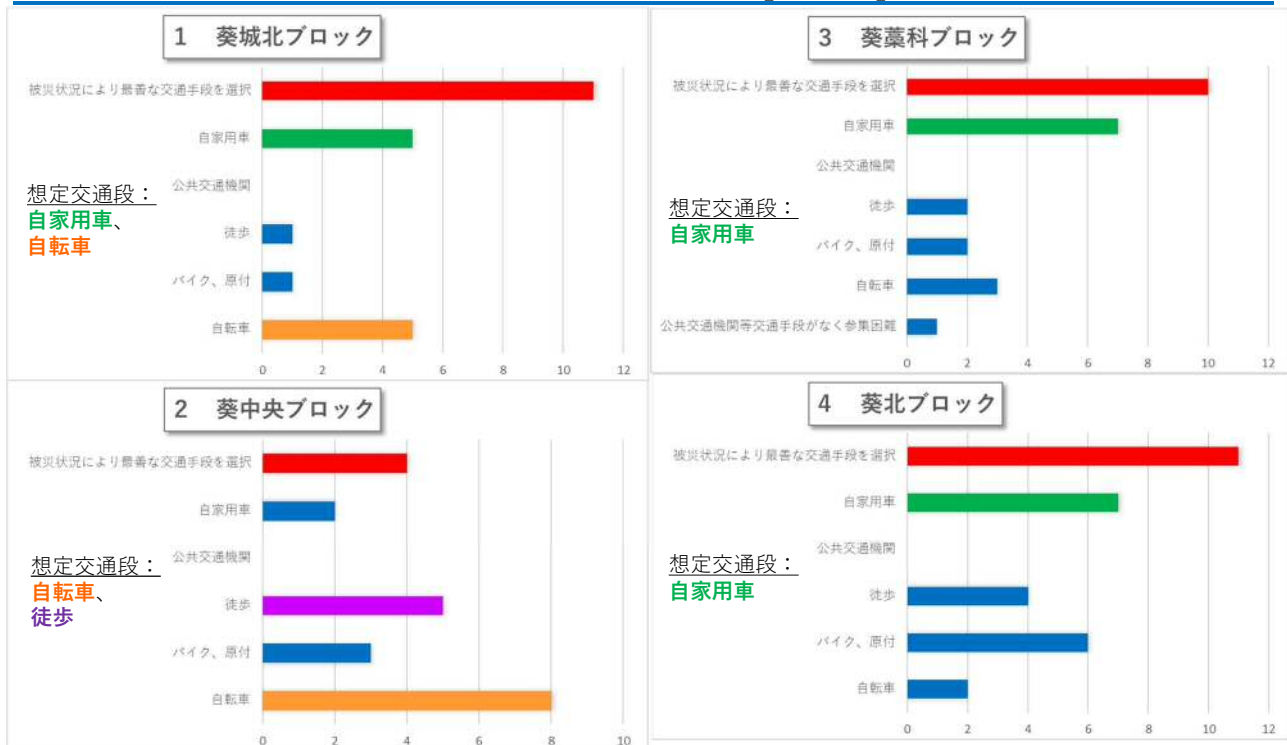
令和5年度も、災害配備、防災訓練等にご協力よろしくお願いいたします。

・頂いたアンケート回答は全て確認させて頂きました。貴重なご意見、有難うございます。

・特に被災時の道路等施設の損壊情報、被災状況の収集が重要になることから、令和5年度は下記事項について検討していきます。

- 基本事項確認を踏まえたアンケート等は継続しながら、3年ぶりとなる拠点等への参集、情報収集、対応事項の確認を行えるような訓練を実施したいと考えています。
- 令和4年台風第15号被災のような大規模被災を踏まえ、対策班、各ブロックが、情報共有、迅速に対応を検討、判断できるよう、実践的な訓練を予定しています。

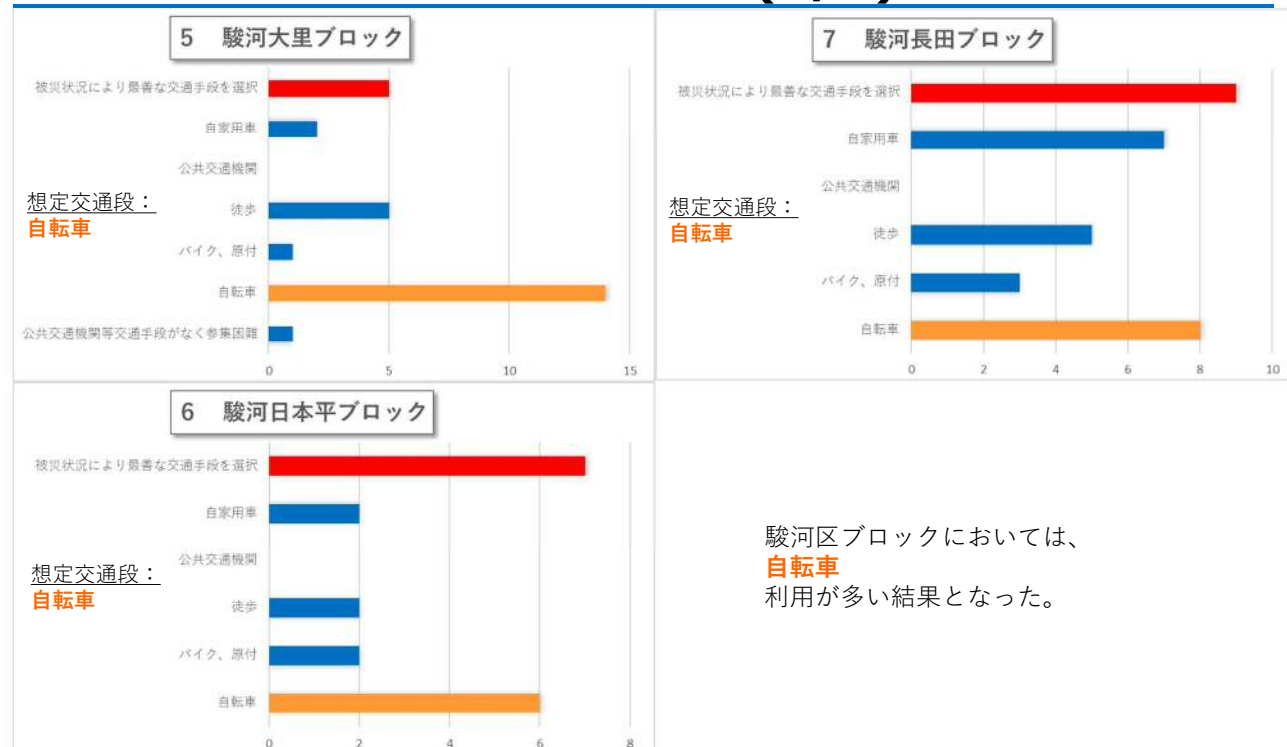
## 参集拠点までの想定交通手段は？(1/4)



アンケートを取るまでもない当然の結果ではありますが、「被災状況により最善な交通手段を選択」が最も多いブロックが大半となった。

ただ、大きな傾向、想定交通手段としては自家用車、自転車、徒歩、バイク、原付などでブロックにより異なる。

## 参集拠点までの想定交通手段は？(2/4)

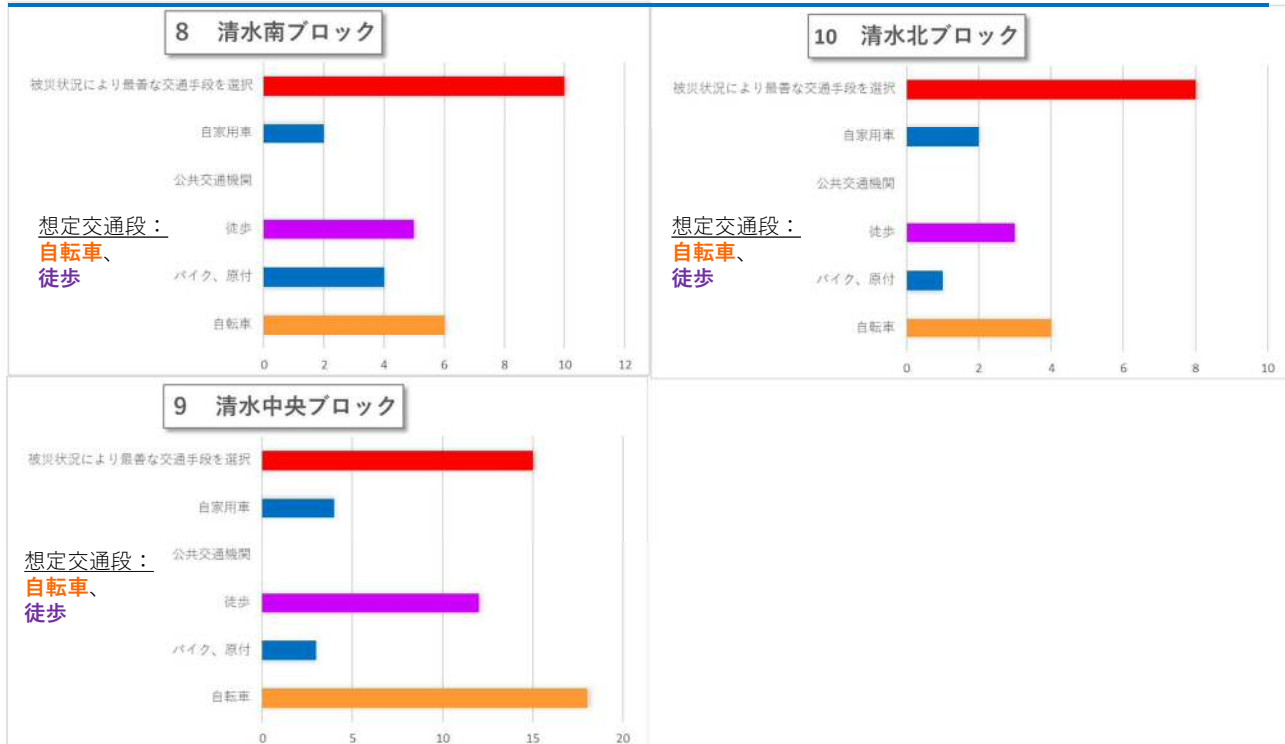


アンケートを取るまでもない当然の結果ではありますが、「被災状況により最善な交通手段を選択」が最も多いブロックが大半となった。

ただ、大きな傾向、想定交通手段としては自家用車、自転車、徒歩、バイク、原付などでブロックにより異なる。

駿河区ブロックにおいては、  
自家用車  
自転車が  
利用が多い結果となった。

## 参集拠点までの想定交通手段は？(3/4)



アンケートを取るまでもない当然の結果ではありますが、「被災状況により最善な交通手段を選択」が最も多いブロックが大半となった。

ただ、大きな傾向、想定交通手段としては自家用車、自転車、徒歩、バイク、原付などでブロックにより異なる。

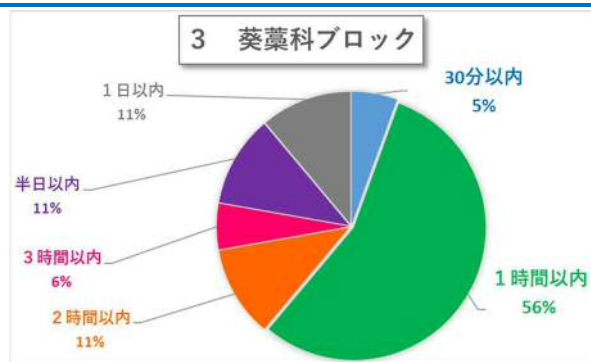
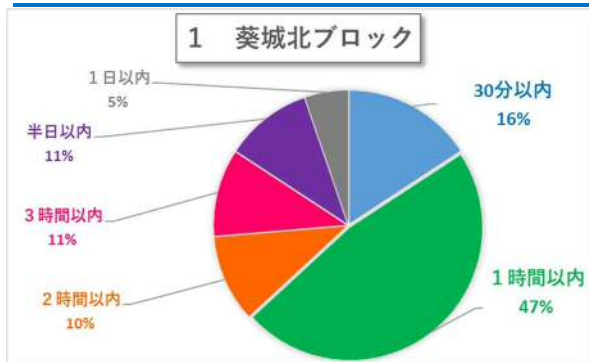
## 参集拠点までの想定交通手段は？(4/4)



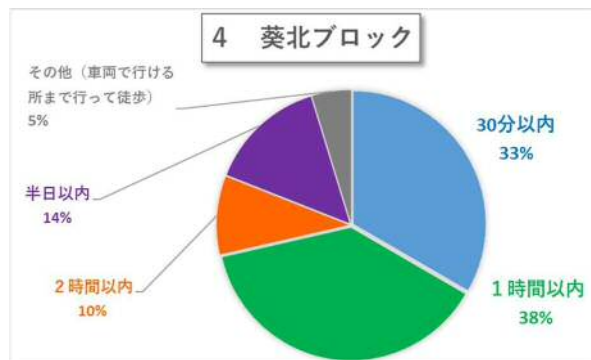
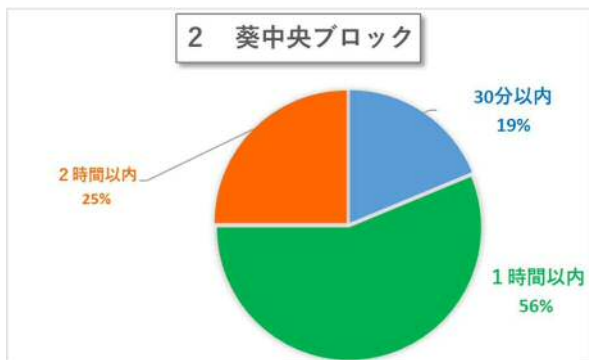
アンケートを取るまでもない当然の結果ではありますが、「被災状況により最善な交通手段を選択」が最も多いブロックが大半となった。

ただ、大きな傾向、想定交通手段としては自家用車、自転車、徒歩、バイク、原付などでブロックにより異なる。

## (発災後) 想定参集時間は？(1/4)

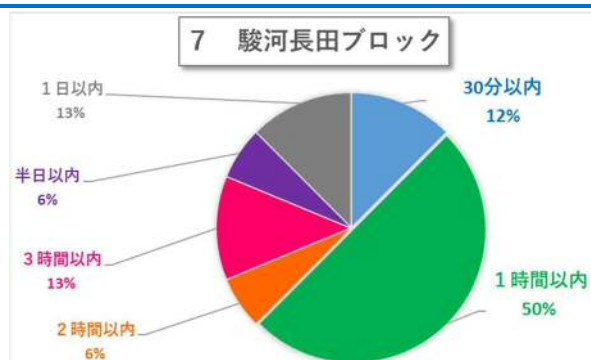
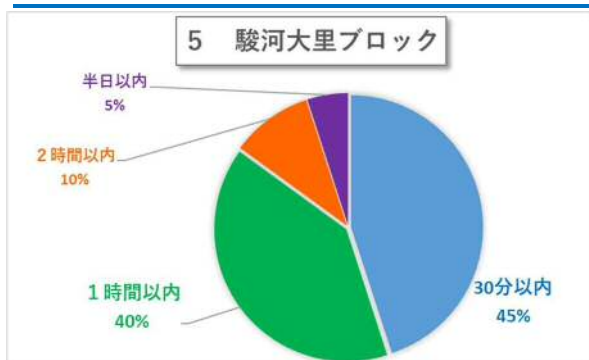


被災状況により最適な交通手段、参集時間は不明、発災後は家族の安全確認等を行い、参集可能な状況となった後、臨機応変な対応となるものの、想定として、前問の交通手段と合わせ回答して頂いたものです。

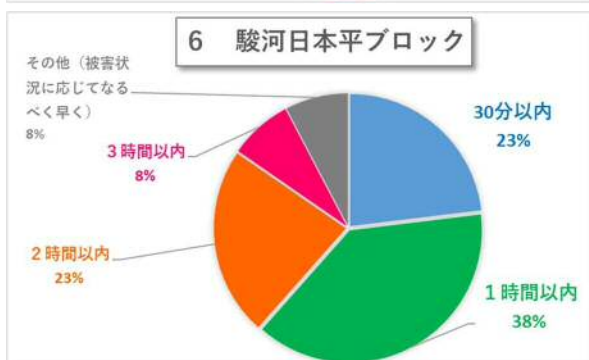


大きな傾向としては**30分以内**、**1時間以内**、で6割程度の参集が見込め**3時間以内**に8割程度の参集が見込めるという結果となりました。

## (発災後) 想定参集時間は？(2/4)

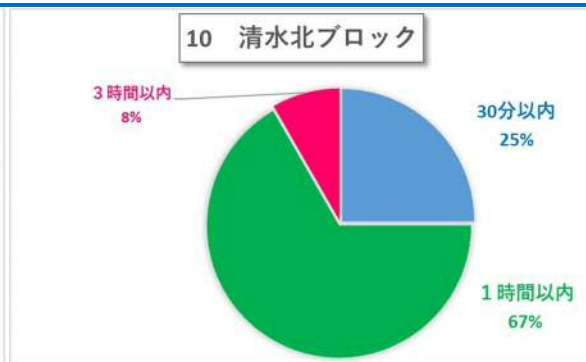
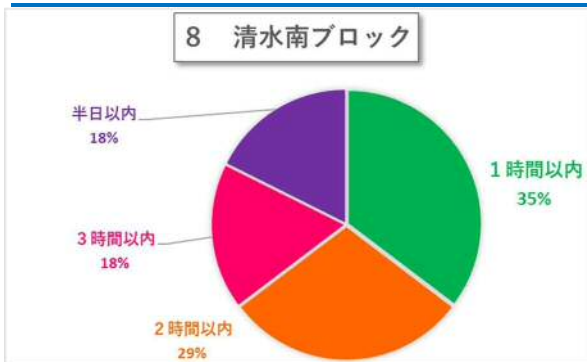


被災状況により最適な交通手段、参集時間は不明、発災後は家族の安全確認等を行い、参集可能な状況となった後、臨機応変な対応となるものの、想定として、前問の交通手段と合わせ回答して頂いたものです。

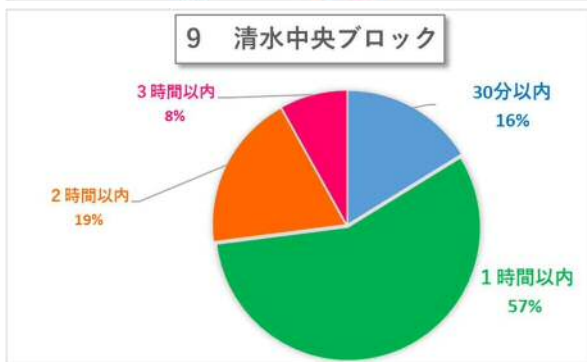


大きな傾向としては**30分以内**、**1時間以内**、で6割程度の参集が見込め**3時間以内**に8割程度の参集が見込めるという結果となりました。

## (発災後) 想定参集時間は？(3/4)

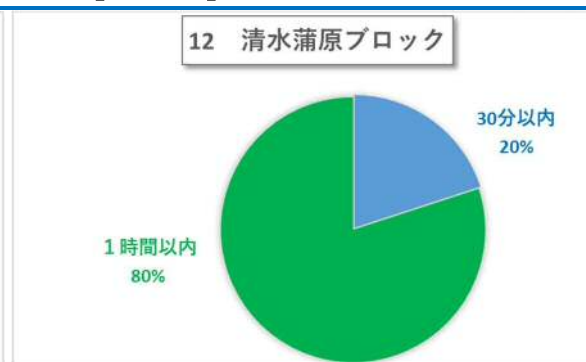
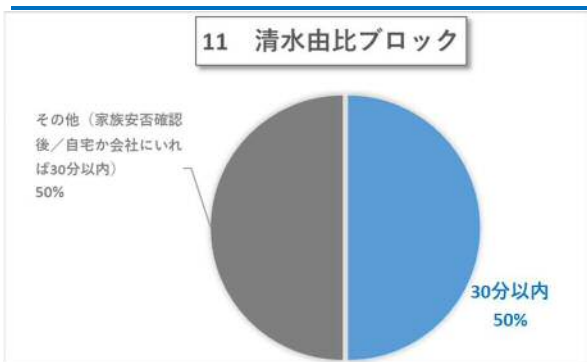


被災状況により最適な交通手段、参集時間は不明、発災後は家族の安全確認等を行い、参集可能な状況となった後、臨機応変な対応となるものの、想定として、前問の交通手段と合わせ回答して頂いたものです。



大きな傾向としては  
**30分以内**、  
**1時間以内**、  
**2時間以内**、  
 で6割程度の参集が見込め  
**3時間以内**  
 に8割程度の参集が見込めるという結果となりました。

## (発災後) 想定参集時間は？(4/4)



被災状況により最適な交通手段、参集時間は不明、発災後は家族の安全確認等を行い、参集可能な状況となった後、臨機応変な対応となるものの、想定として、前問の交通手段と合わせ回答して頂いたものです。

大きな傾向としては  
**30分以内**、  
**1時間以内**、  
 での参集が見込めるという結果  
 となりました。

## 静岡県中部地域の行動計画の中で、くしの歯作戦ルート の道路啓開目標について、どのように設定されていますか。

### A：STEP1（広域支援ルート）～STEP2（アクセスルート）～ STEP3（沿岸沿いルート） 概ね3日以内

救命・救援ルートのうち、東西軸の広域的なネットワークとなる東名高速道路、新東名高速道路等から、富士山静岡空港や災害拠点病院等へアクセスするルートについて概ね24時間で、次に、被害が甚大な地域へアクセスするルートについて概ね48時間で、国・県・市町及び関係機関が連携して道路啓開を行う。また、概ね3日で被害が甚大な地域への沿岸部ルートおよび静岡県広域受援計画で3日以内の活動を予定する拠点までのアクセスルートを確保する。

静岡県中部地域における道路啓開行動計画（改訂版） 静岡県中部地域道路啓開検討会 より抜粋

## 静岡県中部地域の行動計画の中で、くしの歯作戦ルート の道路啓開目標について、どのように設定されていますか。

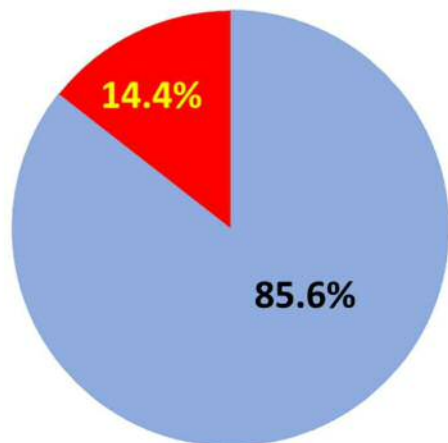
### 救命・救援ルート（3日以内）

- 概ね **24時間以内**に確保すべきルート  
広域的な救命・救援ルートとなる東名高速道路、新東名高速道路等から、富士山静岡空港や災害拠点病院等へのアクセスする道路  
⇒くしの歯ルート STEP1 路線及び緊急輸送ルート(医療活動拠点等への進出ルート)
- 概ね **48時間以内**に確保すべきルート  
甚大な被害が発生した地域へアクセスする緊急輸送路等  
⇒くしの歯ルート STEP2 路線(一部)及び緊急輸送ルート(医療活動拠点等への進出ルート)
- 概ね **3日以内**に確保すべきルート  
概ね3日で被害が甚大なエリア等への沿岸部の救命・救援ルート  
⇒くしの歯ルート STEP3 路線(一部)及び緊急輸送ルート(物資調達拠点等への進出ルート)  
主要な物資拠点（広域物資輸送拠点、市町物資受入輸送拠点）へのアクセスルート。

静岡県中部地域における道路啓開行動計画（改訂版） 静岡県中部地域道路啓開検討会 より抜粋

## 静岡県中部地域の行動計画の中で、くしの歯作戦ルート の道路啓開目標について、どのように設定されていますか。

くしの歯作戦ルート啓開3日目標



■ 回答済み ■ 分からない

令和4年度 静岡市建設局防災訓練アンケート結果

アンケート内の「基本事項確認」として、**85%の皆様が3日（=72時間）内**の啓開  
（くしの歯作戦ルートSTEP 1～STEP3、**救命・救援ルート**）

を確認、意識して頂けていることが分かりました。



アンケート、基本事項確認の文章、回答肢の記載  
が分かりにくかった点がありますが、  
災害協定業者の皆様全員への、  
**3日（=72時間）の更なる周知、徹底**を図ってい  
きたいと思えます。

### 緊急物資輸送ルート（7日以内）

上記以外の緊急輸送ルートとして、概ね**7日以内**に被災地域全域の防災拠点等を連絡す  
るアクセスルート（拠点ヘリポート、防災港湾等への進出ルート）

## 支障物件に応じた道路啓開方法と関係機関との連携内容

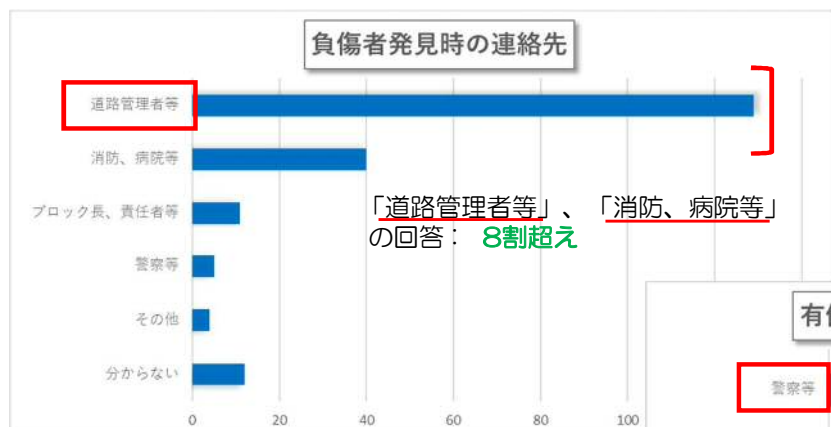
### 負傷者

- ・負傷者が発見された場合（外傷等だけで生死の判断ができない場合を含む）には、速やかに道路啓開作業を中断し、**道路管理者**に連絡する。**道路管理者**は、**方面本部**や**各市町の災害対策本部等**を通じ、**自衛隊**、**消防士**、**警察官**、**海上保安官**等による負傷者の救出救助及び搬送協力を要請する。

### 有価物

- ・当該工作物等の中に有価物等が残存する場合、所有者等の所在が不明である場合には、**警察**等の立ち会いや協力を求め、できる限り回収するよう努める。
- ・有価物の中でも、貴金属及び金庫等、価値の高いと思われる物件については一時保管し、所有者等が明らかでない場合には**警察**に連絡し、届け出を行う。
- ・有価物のうち、位牌、アルバム等、所有者等の個人にとって価値のある物件については、その回収が容易である場合には一律に廃棄せず、所有者等に引き渡す機会を設けるよう努める。

## 支障物件に応じた道路啓開方法と関係機関との連携内容



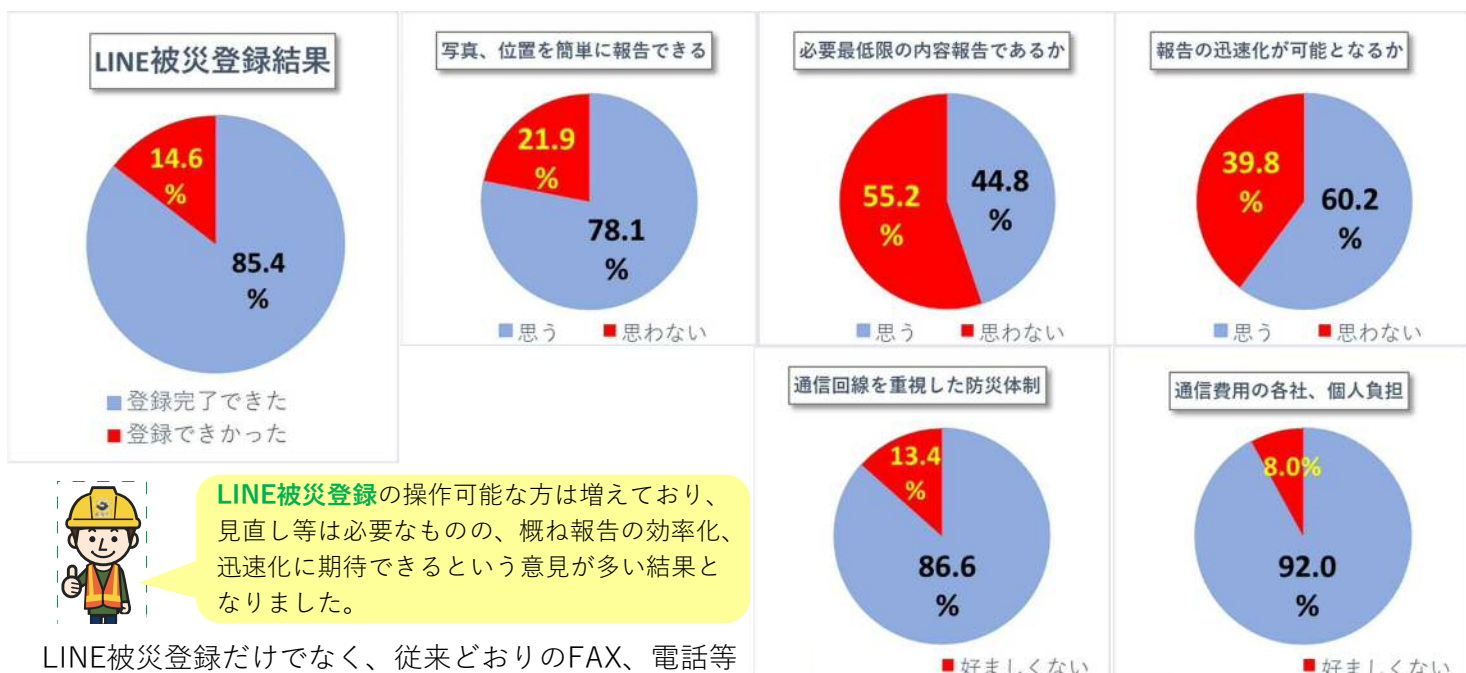
令和4年度 静岡市建設局防災訓練アンケート結果



8割を超える皆様が、対応方法を知っている、確認済みという結果になりました。

「分からない」などの回答も見られたことから、**更なる周知、徹底**を図っていきたいと思います。

## LINE被災登録完了／未完了、意見について

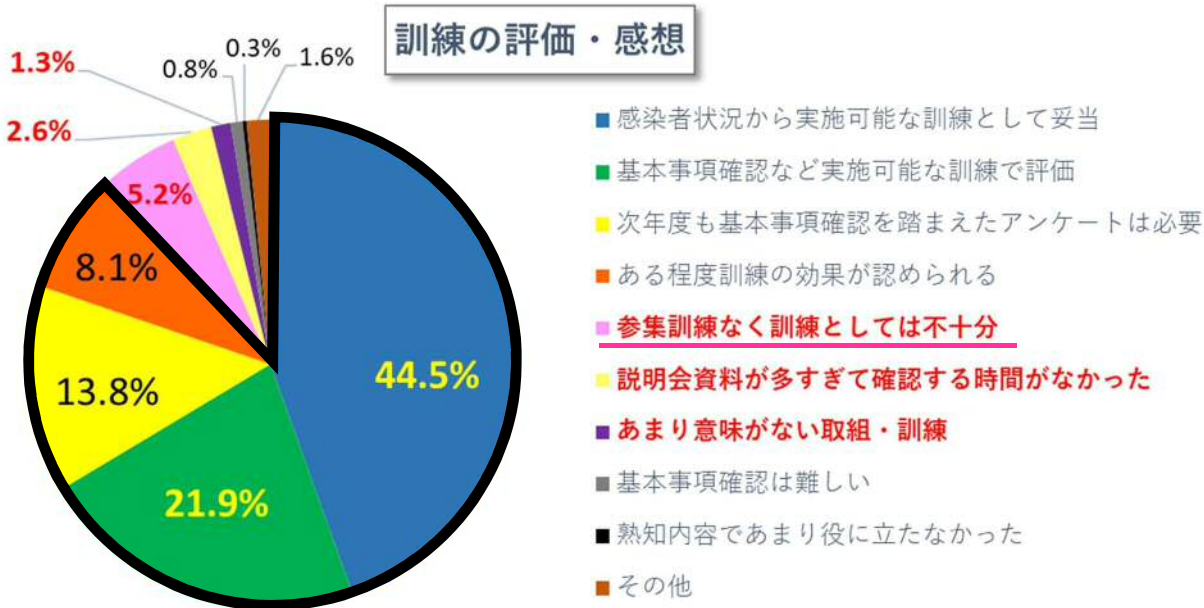


LINE被災登録の操作可能な方は増えており、見直し等は必要なものの、概ね報告の効率化、迅速化に期待できるという意見が多い結果となりました。

LINE被災登録だけでなく、従来どおりのFAX、電話等も利用しつつ、効率的な**情報収集**を進めていきます。



# 令和4年度訓練の評価、感想



8割弱の方から一定程度の評価を頂きました。次年度は、2年実施出来ていない**参集した訓練**を実施していきたいと考えています。



## アンケートで頂いた意見等

【主な意見】 ※正反対の意見もありますが、多数の意見として集約

- LINEを利用した被災登録、コロナ禍時の訓練は妥当

→LINE被災登録は訓練だけではなく、実災害に利用、迅速な被災情報の収集に使うためのシステム

※訓練限定と認識されている方がいるような意見が散見されますが、いつでも登録できる状態になっています。

- アンケートにより基本的事項を再確認することになり有効
- LINEによる被災登録は迅速かつ簡易に登録ができ有効
- 大規模災害時、LINEなど通信回線が使えるか不明
- ブロック長、ブロック責任者含め配備する方の顔合わせを含め、参集訓練は必要



皆様から頂いた意見を参考、検討させて頂き、可能などころから改善していければと考えております。

## アンケートで頂いた意見等の例（良い意見等）①

---

- ・実際に参集訓練が行われることが望ましいが、現在の新型コロナの感染状況を踏まえるとLINE訓練、実施後アンケートは**妥当**と思う。  
アンケートについては**災害時の行動の再チェック**にもつながるので思いのほか**有効**ではないだろうか。細かいルールについてあやふやになる事もあり、1年に1度**ルールの再確認**ができる。
- ・実施可能な訓練（特に**アンケートの内容**）が評価できる。
- ・アンケートの返答には、**資料の読み返し**が必要で、**再確認ができた**。
- ・アンケートも防災訓練実施内容を確認しないと分からないよう**工夫**されている。
- ・コロナ過のため、参集しての訓練は行えませんでした。ただ参集するだけの訓練より、**ためになった**と思う。
- ・アンケートに回答するためには、**基本事項や昨年の結果を見直さない**と**答えが出てこない**、クイズ形式のような問いかけもあったので、それが却って**ためになった**。  
「道路啓開行動計画」の内容は、初めて知ること数々あり驚かされた。案外知らない人たちも多いと思う。

## アンケートで頂いた意見等の例（良い意見等）②

---

- ・コロナ渦の中での工夫で、今回のような手法での実施をしていただきましたが、**LINEを利用した報告は簡単で周知もしやすく、優れている**と感じました。実働の訓練は少々マンネリしていて、時間も労力もつかいますし、実際の災害時に本当に役立つのかな？と感じるところもありましたが、今回の手法は災害地の**情報収集という意味では数段優れており**とても良いと感じました。
- ・LINEで**スピーディーな報告**が出来て良かった。  
レジメが、わかりやすくスムーズに報告が行えた。
- ・LINEを利用したことにより、**若手の関心**が高まりました。また、若手と中高齢者とのコミュニケーションが増え間接的にも良かったと思います。社内の防災体制についても見直しができ今年度の訓練はかなり**評価**できます。
- ・被災状況を現地を確認しながら報告できるのはとても良いと思った。参集ありでも**LINE活用**は来年度からも続けるべきだ。仮に参集できないとしても被害状況を報告できるのもリアリティがあって良いと思う。

## アンケートで頂いた意見等の例（良くない意見等）①

---

- ・ アンケートと言いながらテストみたいで気分が悪い。
- ・ 訓練になっているか疑問に思う。
- ・ 弊社では、LINEをしている人数は半数以下、平均年齢も高いので詳しくなく、登録出来ませんでした。LINE登録出来なかったことが、何か後味悪いです。
- ・ 訓練は机上のもので、現実感が乏しく現実に活用できるか疑われる。
- ・ LINEの報告訓練としては、入力項目の説明及び訓練として入力の項目指示があってもよいと思います。
- ・ LINEの活用は難しい人もいるため、他の方法もあったほうが参加者が訓練を受けやすいと思います。また、LINEでの報告が複雑で項目が多く、時間がかかるため簡略化を希望します。
- ・ LINE被災登録は、マニュアルが手元にあった為スムーズに行うことが出来ましたが、実際に災害が発生した際スムーズに出来るかはわからないと思いました。改善は大切だと思いますが、去年はメール、今年はLINE、やり方が頻繁に変わると混乱すると思いました。
- ・ 内容が難しい、メール等のほうが良い。

## アンケートで頂いた意見等の例（良くない意見等）②

---

- ・ 実際に被災したときに、当時、現地に近い地域にいたのですが、東日本のときがそうだったように、通信網がマヒすると思います。LINEでの連絡は手軽ですが、頼りすぎるのはよくないのではないかと。
- ・ 災害発生時に通信回線に支障をきたす場合が多いのではないかとという疑問が残る。通信回線が主流なのが、大災害時に有効とは思えない。
- ・ オンラインでの訓練であるとしても作業的になってしまいます。コロナ渦の状況で開催は難しいと思うが、実際に実働訓練することでより訓練に対する意識が強まると思う。
- ・ LINE被災登録の訓練も大事ですが従来通りの参集訓練も必要に思われる。顔を合わせるのも必要です。地区担当の指揮者が誰なのかがわからないです。
- ・ 参集訓練以外でブロック長、市職員と顔合わせの機会が無く、実際に災害が起こった時に連携できるか不安です。
- ・ 主要道路の地図が分かりにくいので、もう少し分かりやすい地図にして欲しいです。

## アンケートで頂いた意見等の例（様々な意見等）①

- ・ LINE等のSNSでのやりとりは個人的にはやりやすくて良いと感じましたが、高年齢化が進む土木業界でSNSを駆使してやりとりができる人がどれほどいるのかが気になるところではある。
- ・ LINEではなく他のSNSでの連絡方法はないのか？LINEのセキュリティに不安がある
- ・ LINEで写真を報告する際に、複数枚送信するやり方がわかりませんでした。  
次回は、1か所あたり数枚連続で報告ができるようにしたら尚簡素化が図れると思います。  
→LINE被災登録は「全体」、「詳細」の2枚のみで、複数登録が出来ない仕様になっております。
- ・ LINEでの登録は完結でよいが、パソコンでも同じ内容で出来、なおかつ、LINEかパソコンの選択ができるとうまい。
- LINE被災登録は、パソコンでは利用できない仕様になっております。
- ・ 被災状況の分類などは、実際のときは説明が必要となる可能性が高いのでもう少しコメントをいれられるようにした方がよいと思います。  
→報告の迅速性、簡便さ等を検討しつつ訓練済み報告方法から大きく変えない微修正をしていく予定です。

## アンケートで頂いた意見等の例（様々な意見等）②

- ・ 私自身が2011年の東日本大震災時に被災経験があり、その際、訓練等日々の備え大切さを実感しました。折に触れて防災訓練等を行う事は非常に有意義であると考えております。特に静岡県は南海トラフ地震や富士山の噴火等の被害が予想されますので、年1回に限らず、定期的な訓練実施(例えば通信訓練のみ)があっても良いと思います。
- ・ LINEを使った訓練は役に立ったが、有事の際は通信ができない前提でいたほうが良いと思うので、参集場所に向かいながら写真撮影→集合場所にて報告等の訓練もあってもいいかと思う。
- ・ 防災訓練において、いくつかの組合に所属していると、それぞれの報告書類等書式や連絡方法があります。静岡は政令指定都市ですので、市と県で連携して頂き、市に報告、連絡した事が県にも届く、また書式だけでも統一化して頂けたら良いと思いました。
- ・ 昨年と比べ、実地方法、訓練内容がかなり変わっていて、防災訓練の取り組みへの本気度が高くなっている気が伝わってきました。地震に限らず、異常気象による災害につきましてはテレビ等を通じ住民全体が不安に思っているはずで、みんなの不安要素を少しでも減らせる様、防災体制が日々進化していくのを願っております。

**アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。**

**今後もしよろしくお願ひいたします。**